

高石市立小学校教諭 藪内 誠吾（平成23年3月 人間社会学部卒業）

私は小学校教員になることを目標に特別支援学校で3年間講師を続け、仕事に勉強にと支援教育の経験を積みながら採用試験合格に向けて頑張ってきました。しかし、小学校の採用試験に関する情報が無く、いざ採用試験になると不安になることがありました。しかし、その都度、教職教育センターに足を運び、面接対策や模擬授業の相談などにのってもらいました。センター教員や職員の方々は、卒業生にも親身になってアドバイスをくれます。こういったサポートがとても心強く、試験にも自信を持って挑むことが出来ました。

現在は、4年生の担任をしています。まだまだわからないことが多いのですが、毎日子ども達とドッチボールや鬼ごっこなどの遊びを通して信頼関係を築き、学級運営を行うことで笑い声の絶えないクラスになってきました。これから採用試験を受けられる皆さんもボランティア活動等で子どもと接する機会があれば、遊びを通じて自分なりの信頼関係を作る方法を見つけてください。必ず、役に立つと思います。

